

Evergreen 投稿規程ならびに執筆要項

〈投稿規程〉

1. 投稿資格

執筆者は、昭和女子大学大学院英米文学専攻に所属する在学生、修了生、研究生、それに英米文学専攻にて授業を担当している常勤教員、非常勤教員とする。

2. 投稿原稿の種類

英米文学専攻紀要 *Evergreen* に投稿する原稿は原則として、英米文学、英語学、比較文学、比較文化に関する研究論文とする。

3. 投稿の手続き

- (1) 当該年度の紀要への投稿希望者は、修了生に限り、編集委員から送付される往復はがきに、指定された日迄に返信すること。
- (2) 投稿原稿は、執筆要項に従って作成したものでなければならない。
- (3) 投稿原稿は、はじめに題名と氏名を明記し（〈執筆要項〉の 2. を参照）、ホチキスで留め編集委員に 2 部提出する。目次は不要。
- (4) 10 月 31 日を締切日とし、当該日を過ぎた場合の投稿は一切受け付けない。
- (5) 投稿原稿の提出後、掲載の可否については編集委員会が改めて連絡する。掲載が許可されても、編集委員会の決定によって、書き直しを求める場合がある。なお、投稿者 1 名につき、英米文学専攻から 2 名の教員が査読を行う。
- (6) 掲載が決まった際は、完成原稿のファイルを添付し、編集委員にメールを送信すること。メールアドレスは下記参照。

4. 執筆の形式

- (1) 横書きにする。
- (2) 枚数は和文、英文いずれも 10 枚以上 25 枚以内とする。

* 執筆者の人数によっては上限を 20 枚とする場合がある。

- (3) 和文の場合は、パーソナルコンピューターを用い、A4 判用紙に 32 行 33 行で設定し、印字する。
- (4) 英文の場合は、パーソナルコンピューターを用い、A4 判用紙に 80 ストローク 33 行で設定し、印字する。なお、執筆者は、専門職によるネイティブ・チェックを受けてから提出すること。

5. 書式上の注意

- (1) 題名および氏名の位置

(例) 1 行目 題目

2 行目 氏名

3 行目 書き出し（一章、序、はじめに…）

- (2) 本文から孤立した引用は、和文の場合は 3 字、外国語文の場合は 6 ストローク下げて書き、前後を 1 行ずつあけること。ただし、外国語で書かれた詩を引用した場合は、引用から一行空けて執筆者の日本語訳を付けること。散文を引用した場合は、必要に応じて執筆者の解釈を本文または註に入れること。

- (3) 外国人の人名、書名、地名等は、初出の箇所日本語の後にマル括弧付きで原語表記を併記し、その後は日本語表記で統一する。

なお、人名は初出の箇所はフルネームで表記し、英語はできるだけ原語の発音に近い表記とする。また、他の国の人名・地名等の固有名詞は、我が国で一般に行われている表記に従うが、日本語表記が一定していない場合は可能な限り原音に近い表記をする。

詳しくは『新潮 世界文学辞典』（東京：新潮社、1990）を参照のこと。

- (4) 欧文と算用数字は半角で表記し、その前後に半角スペースを入れる。ただし日本語の場合は和数字を用いる。

(例) 百人一首。二三（にさん）

- (5) 註（文末注）及び引用資料のリストは、原稿の末尾にまとめてつける。
- (6) 英語で論文を執筆する際には、*MLA Handbook for Writers of Research Papers*, 6th ed.（日本語訳『MLA 英語論文の手引き』第 6 版、北星堂）

に従う。なお、日本語で論文を執筆する際も、原則、上記を参照すること。但し、参照できない場合は、執筆者の責任で統一を図ること。その際、編集担当にその旨を伝えること。

(7) 引用資料リスト及び参考文献の書き方については、次の例にならうこと。

(例) ・ 日本語文献の場合

渡辺利雄『講義 アメリカ文学史 第 I 巻 東京大学文学部英文科講義録』東京、研究社、2007 年。

・ 日本語雑誌記事・論文の場合

水野尚「ペローの「赤ずきんちゃん」を読む」『慶應義塾大学日吉紀要 フランス語フランス文学』（第 13 号）慶應義塾大学紀要刊行委員会、1991 年、pp.60-87.

・ 外国語文献の場合

Harrison, Matthew and Brian, eds. *Oxford Dictionary of National Biography vol.48*. New York: Oxford University Press, 2004.

・ 外国語雑誌記事・論文の場合

Nordhaus, William D. “After Kyoto: Alternative Mechanisms to Control Global Warming.” *American Economic Review* 96.2 (2006): 31-34.

(8) 原稿(和文または英文)のコピー、切り貼りは認めない。

6. 原稿の校正

投稿者の校正は、初校のみとする。校正は、文字上の誤りに関するもののみとし、内容に関する訂正加筆は認めない。なお、校正ゲラ刷りの受け渡しは原則として直接受け渡しとする。しかし、それが不可能な場合は返信用の E パックを原稿と共に提出すること。

7. 原稿の著作権

著作権は昭和女子大学大学院文学研究科英米文学専攻が有するものとする。

8. 編集委員会

編集委員：英米文学専攻担当教員

編集担当：原則として博士後期課程2年の大学院生（2年生がいない場合もあるので）

住所：〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7

昭和女子大学大学院英米文学研究会

Evergreen 編集担当

メールアドレス：evergreen_swu@yahoo.co.jp